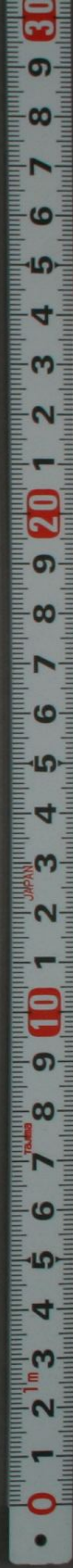


千八百七十八年九月三日刊行横濱フリスガゼット新聞抄譯

富國ノ本源ヲ論ス



4151



114
A 977



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

鬼頭愷次郎譯

千八百七十八年九月三日刊行横濱「ヂヤツパン」ガゼット新聞社
説ノ譯

富國ノ本源ヲ論ス

凡ソ貿易上ニ関シ日本政府ガ處置ヲ施シ事ヲ行フヤ為メニ國
内ノ人民ハ著シク其舉動ニ注目スルノ色アリ
之レニ依テ今マ若シ吾人些少ノ勤勞ヲ厭ハス宜シク公明正大
ノ心ヲ懷ヒテ日本貿易ノ形況ヲ回顧シ供マテ貿易ノ擴張繁盛
ニ至ルヲ箴制スル所ノ諸原因ヲ再査シ以テ其得失如何ヲ論
スルニ於テハ其裨益此富國ノ本源ヲ論スルニ當リ公明正大ノ考察ヲ要スルハ第一ニ日本人民ノ上ニ及ボシ均シク
亦日本政府ト外商ノ上ニ及ボス所アラシ尤モ政府ト外商
ノ此裨益ヲ受クルハ日本人民ニ及ボスガ如ク直接ナラステ
自ツカラ間接ノ姿アルナリ中今此富國ノ本源ヲ論談スルニ當

義

本明正大ノ考察ヲ下スヨリシテ若シ裨益不レ所アリハ
家モ賢明ナル諸外國人ノ經驗ニシテ加フルニ有権高位ノ日本
数名ノ明論確説ヲ以テ認可セシテ就テ考察スレバ實ニ日本
ノ貿易ハ原ト之レヲ開發擴張セシメンガ為メニ設ケタル諸源
因ニ依リテ却テ欲制マラル、ノ色アルトテ信スルニ足レリ
然レモ時遷リ日変リ今日ニ至ルニ及ンデハ最早徒ラニ制限ヲ
設ケテ高事ノ進歩ヲ妨クルハ人民ノ起業興産上ニ取リテ有害
ノモノタルハ今日ノ時勢ヲ以テ証徴スルニ足ルベシ
抑モ我輩新聞記者ガ斯ル論ヲ建テ此説ヲ吐クヤ原ト長ク回顧
沈思レ既往ニ徴シ將來ニ見ル所アルモノニシテ日本上下ノ人
民ノ討議論辨ニ由リテ大ニ左祖セラレタル説ナレバ決シテ
微々タル論者ノ意想ニ依リ倉卒淺薄ノ所見ヲ吐露セシモノニ
アラス

蓋シ此論ノ批テ起ル所夫レ斯ノ如クナレバ此論ノ正当確實ニ
シテ信ヲ置クニ足ルベキモノタル推テ知ルベシ
凡ソ日本ノ緊要有益ナル諸統計表ヲ参閱スルニ日本ノ産物中
海外ニ輸出スル重モナル品物ハ唯ニ種ニ限ル而已即チ其一ハ
生茶其二ハ茶是レ而已然ルニ生茶茶ナル此ボノ二品ハ何レモ
市價ノ變動常ナラザルモノニシテ此ボノ二品ヲ消費人ニ販賣
スルヨリシテ得ル処ノ収額ハ其年々ノ産出高ニ依ラスシテ或
ハ最底好欲ノ多寡ニ依リ或ハ國政変乱ノ有無ニ依リテ増減
ヲ生スルモノナレバ其變動ノ甚シキ以テ知ルベシ且ツ夫レ國
政変乱ノ有無ノ如キハ常ニ先見豫知スルニ難キモノナラザル
ベカラス

熱日本ノ地理ヲ案スルニ北緯三十度ニ起リ四十五度ニ終ル其
氣候寒暖宜シキヲ得テ完全ナラザルナリ且ツ四面海上ニ臨ミ

船舶容易ニ海濱ニ接近スルヲ得ルノ便アリ天賦ノ便益實ニ廣
大無辺ナルヲ以テ日本ハ全世界中ニテ策モ穀物ノ出產ニ富ム
地方ト一ニテ争フベキ競争者タルヲ徴スルニ足レリ
夫レ全世界中ニテ策モ穀物ノ出產ニ富ム地方トハ他ナシ即チ
亞米利加合衆國是レナリ合衆國モ亦北緯三十度ト四十五度ノ
間ニ位置ヲ占ムル國ナレト合衆國ハ西半球ニアリ日本ハ東半
球ニアリテ緯度ノ全シキモ半球東西ノ別アリ
日本内地ヲ巡回セシ者ノ話ス所ヲ聞クニ其目撃セシ土地ニシテ
未タ開墾セザル廣大ノ地方夥多アリ其地膏腴豊饒ノモノヲ
ルハ現滿面青草繁茂スルヲ以テ証徴スルニ足レリ依テ今此ホ
ノ原野ヲ開キ秋收ノ利ヲ得ンニハ最小ノ資金ヲ以テシ之レニ
加フルニ強健剛勇ノ士ノ勤勞ヲ要スルニアル而已ト
然ルニ此ノ富國ノ本源タル目今全ク一人トシテ之レヲ顧ミル

モノナクモ向墾ノ業ニ著手セス此際ニ於テ宜ク奨励ヲ加ヘ
ズンバアルベカラス
爰ニ人アリ自々カラ勞役ニ服シ勤カラ尽クシ然ル後其結果ヲ得
ル者ハ必ラス豫メ胸算ヲ立テ以テ目今ニ為セル非常ノ勉強ハ
則チ將來ノ安樂ヲ来シ老年ニ及ンテ事ニ不足ヲ生セザルガ為
メナルヲ計ルナリ且ツ又果シテ斯ノ如クナレバ其子孫ニ譲与
スル遺物ノ如キハ嚮キニ自ツカラ得ル所トナリシ時ヨリモ一
層大キヲ加フルニ至ラン
蓋シ農夫ノ如キハ實ニ能ク此事實ヲ曉知スルモノナリ又農夫
タル者ハ如何ナル方策ヲ回ラシ如何ナル良法ヲ施セバ容易ニ
其年々ノ收穫ヲ重倍ニシ得ルカヲ明知スルモノナリ
假令ニ農夫ノ奮發熱心夫レ斯ノ如シト雖モ如何セン農夫ハ其
土地ノ產物ヲ以テ通貨ニ換ヘントスルニ當リ諸般ノ難事アリ

テ為メニ其熱心ヲ挫折セラル、ノ患ヒアリ實ニ農夫ノ如キハ
唯通貨ノカニ依リテ而已反復其日業ヲ營ミ得ル者タルニ過キ
ス
日本ノ現況ニ就テ之レヲ觀ルニ日本ニ於テハ第一内地運輸ノ
便殊ニ悪シク市場へ運輸ヲナスニハ極メテ困難ヲ嘗ムルナ
リ
仮令ヒ若シ農夫ノ耕地良港ノ近傍ニ在リ幸ヒニ其港湾タル船
舶出入ノ便其他諸般ノ事一モ欠クル所ナク繁榮ハ一港トナル
ニ足ルモノアリト望トモ不幸ニシテ更ニ船舶ノ設ケナシ
若シ折節船舶ノ來港スルアリテ船積ノ塔載ヲ求ムルアルモ時
日ノ不定ナルト運賃ノ一定セザルト其他種々ノ事故アルアリ
テ大取引ニ取掛ルニ臨ミ前以テ此ホノ緊要ナル算計ヲ見積リ
其如何ヲ了解スルアタハガラシム蓋シ此困難ノ如キハ竝初思

慮スルヨリモ一層甚シキモノナリトス

抑モ日本人民ノ需要品ヲ供給スル市場ハ重モニ大阪ト東京ノ
西都ナリ然ルニ此西都タル何レモ穀物出産ノ地方ヲ距ルト甚
タ遠キヲ以テ出産人ハ容易ニ接近スベカラザルヨリシテ餘儀
ナリモ其穀物ヲ仲買人ニ賣渡スニ至ルナリ蓋シ此仲買人ノ如
キハ東京大阪ニアル名聞高キ商會ノ為メニ此業ヲ營ムモノナ
レバ穀物ヲ購買シタル上之レヲ大阪東京ノ西市場ニ輸送ス茲
ニ於テカ西都ノ商會ハ兼テヨリ現行ノ制法ニ依リ專賣ノ權ヲ
占メ得タルヲ以テ宜シク其制法ノカラ仮リテ商會ノ獨足スル
尤ケノ價格ヲ以テ之レヲ販賣スルニ至ルベシ
夫レ穀物ヲ産スルノ農民ハ餘儀ナク斯ノ如キ販賣ヲ為シ仲買
人商會オハ斯ノ如キ專賣ノ權ヲ占ムルガ故ニ日本國內ニテ消
費スル穀物ノ所得ハ悉ク皆々數人ノ占有スル所トナルモ

ノナリ

大阪東京ノ如キ大市場ヨリ非常ニ遠隔セシ地方ニ居住セル出
産人等ハ米價ノ高低ニ拘ハラズ仲買人ノ申立シ價格ヲ満足セ
サルベカラス蓋シ仲買人ノ米價ヲ見積ルヤ先ツ已レノ割合ヲ
計リ其多寡ニ依リテ以テ生産ノ勤勞ヲ概算豫定スルモノナ
リ
斯ノ如クナルヲ以テ仮令モ出産人ハ其産スル所ノモノヲ一面
名ノ米商ニ賣ラスレテ數百名ノ競争者アル所ニ之レヲ驚カバ
其財本ヲ増加スルヲ知リテアガラモ自ツカラ其念慮ヲ絶テ僅々
タル米商ニ販賣セザルベカラス
日本ニ於テハ米穀需求ノ額恒ニ変更スルヲナシ又能ク人民ノ
需要ニ應スルニ足ルナリ然ルニ農ノ富ミハ米商ノ富ミニ比ス
レバ其増加實ニ鮮少ナリ(但シ農ハ夫レ日本帝國ノ人民ニシテ

歳入ノ中殆ンド七割五分ヲ納ムル一社會ナリ)

斯ノ如キハ之レヲ自然ニ任シ置カバ自ツカラ医沼料理ニ就キ
時日ノ變遷スルニ随テ公卒ニ至ルベシト虫氏若シ沿海貿易ヲ
擴張シタラシニハ其医沼料理ニ就クノ時ヲ見ル一層神速ナル
ベシ

蓋シ沿海貿易ヲ擴張スレバ海港随ツテ開ケ財主随ツテ輻輳シ
賣買上ノ競争随ツテ起リ為メニ各人裨益ヲ得ルモノ鮮少ナラ
ス穀物ヲ出産スル者ハ其穀物ヲ真價ニ販賣シ資本ヲ貸付ケシ
財主輩若シクハ其業ニ従事スル者等ハ儲ケ得タル口錢ノ配分
ニ預リ上ニ消耗人ヨリ下ニ赤貧民ニ至ルマデ斯ノ如ク穀類ノ貿易
ヲ擴張スルヨリ其食物ノ價値低賤ニ至リ裨益スル所實ニ大ナ
リト云フベシ

目今日本ノ有様ニ依レバ此赤貧民ノ難救スルハ却テ穀物出産

人ヨリ一層甚シトス

蓋シ米ノ投機高賣ハ株式相場會社ノ取引ト性質ヲ同フスルモノナリ是ヲ以テ其供給若シ實ニ需求ノ度ヲ過キ米價ノ下落ヲ免レ難キ場合アレバ政府ニテハ頻リニ其輸出ヲ増加シテ之レヲ海外ニ販賣スルヨリ如何ナル影響ヲ波及スルカヲ敢テ顧ミザルナリ是レ他ナレ蓋シ政府ノ目的トスル所ハ内國ノ米價ヲ下落セザラシメンガ爲メニ可成丈小額ノ米ヲ貯蓄セントスルニアレバナリ

以上開陳スル所ノ論說ハ前文既ニ述ベシゲ如ク伶俐理察ノ日本入ノ立論ニ係ル夫レ此輩ノ如キハ唯沿海ノ往復丈ケニ從事スル商會(按スルニ三菱商會ノ事ナラン)ニ保護ヲ与フルヲ以テ内國ノ穀類貿易ヲ擴張改修セシムルガ爲メニハ實ニ有害重大ナル妨礙トナシテ以テ此說ヲ吐キタルモノナリ

熟^ク農業ノ開發ノト至[○]當[○]ノ管[○]理[○]ヲ以[○]テ穀物ヲ輸出スルヨリシテ莫大ノ裨益ヲ來ストトラ考察スル所ハ運輸ノ方法整ハザル其内地貿易ニ於テルヨリモ一層悒クベキニ似タリ

運輸ノ方法整ハザル夫レ斯ノ如シト雖モ尚ホ現存ノ一層緊要ナル障礙物ノアルアリテ輸出用ノ爲メ外國人ニ穀類ヲ販賣シテ利ヲ得ルノ望ミヲ懷カザラシメ又出産人ノ自カラ以テ之レヲ輸出販賣シテ利ヲ占ムルノ念ヲ去ラシムルニ至ル

天[○]此[○]毎[○]年[○]ノ地[○]租[○]上[○]リ[○]高[○](本年六月三十日ヲ以テ終リトシタル一周年間ノ豫算高ハ三千八百五十三万八千七百九十四円ナリ)ノ内窮大ハ米細ナルガ故ニ政府ニ於テハ之レヲ何レハカ賣却セザルベカラス然ルニヘニ政府ハ巨額ノ米ヲ歐洲ニ輸出スルニ至ル蓋シ政府ガ政州ニ輸出セントスルニ當リテハ口銭其他諸雜費ノ類ニシテ米商輩が当地ニテ米ヲ買入レ以テ自ツカラ諸

等ヲ引受ケテ輸出スルニ臨ミ費用ヲ出サバモノオ臨時ノ入
費一切政府ノ受持ツ所トナルニモ拘ハラズ之レヲ政州ノ市場
ニ出スニ至ル
斯ノ如ク臨時費ノ多キモ毫モ厭フノ色ナリ海外ニ輸出スルハ
是レ官有物ナレバコソ斯クナスモノ、民間如何ナル人アリテ
自ツカラ輸出シ以テ能ク之レト競争シ維持スルヲ得ベキゾ
ヤ
熟日本ノ現況ヲ觀ルニ獨リ三美商會船舶往復ノ專權ヲ占ムル
ガ為メニ運輸ノ方法充分輕便ナラザルヲ以テ殘餘ノ穀類ヲ輸
出シ以テ出產人ヲシテ他人ト等シク利ヲ得ルノ道ナカラシム
ルナリ
蓋レ農民ハ三美商會ノ為メニ此天理ノ浴澤ヲ被ムラザルガ故
ニ其勤勞ノ結果ニ付キ頗フル不満足ノ色アリトス是レ他ナシ

仮令ニ此輩ハ艱難辛苦ヲ嘗メ頗フル勞役ニ從事スルモ何分邊
当相應ノ報酬ヲ得ザルガ故ニ實ニ其勤勞ノ結果ヲ置違ヘタル
モノトシ且ツ之レヲ無用ノモノト思考スルニ足レバナリ
亦他諸國ニテ頻リニ通商貿易ノ智識増加シ且ツ全國ノ殖産ニ
付テ政府ノ奨励スル所アルヨリシテ直接ニ裨益ヲ生スルノ二
事ハ則チ今マ日本ニ於テ民間ニ流行スル不満足ノ一端ナルベ
シ蓋シ此裨益ノ如キハ公衆ノ費用ニ依リテ其身富豪トナリタ
ル二三輩ノ得ル所トナリタリト至ニ未タ廣ク日本人民ニ波及
セザルモノナリ
斯ク民間ニ不満足ノ色アルハ恒ニ日本政府ノ為メニ非常ノ憂
患トナルモノニシテ又以テ日本ノ信友タル者ニ取り最モ専深ナ
ル反射ノ一原因トナルモノナリ
蓋シ日本ノ如キハ造化ノ恩澤ニ浴スル實ニ渥ク造化其力ノ及

ラ犬ケノ天福ヲ日本ニ賦与セシモ尚ホ日本ハ亜細亞中ニ於テ
實モ赤貧ノ國ナリ
夫レ國家ノ形状斯ノ如シト雖モ此ノ缺典タル毫モ人民ノ知ル
トコロニアラス實ニ人民ハ力メテ國產ヲ増加セントスルモ徒
ラニ不用無益ナル禁令嚴法ノ續出スルアリテ為メニ箠割セラ
レ其望ミヲ全フスルアタハステ空シク懶惰緩慢ニ流レ終日
終夜艱難不平ノ論談ヲ以テ其常務トナシ其罪ヲ主治者ノ政略
ニ帰シ徒ラニ光陰ヲ送ルノ外他事ナキナリ
是ヲ以テ此輩ノ如キハ全輩ノ為メト全國人民ノ為メニ各メテ
耕作ヲ勵ミ利ヲ得ルノヲ顧ミスレテ謾ニ叛逆ヲ謀リ不忠不
和ノ種蒔ヲナスニ至ル而レテ不忠不和ノ萃タル黙乎怒怒中ニ
之レヲ蔽ヒ之レヲ蔽ムルモノナルヲ以テ小事ニアラザリシ
トス

凡ソ人民ノ為メニ日本諸新聞記者オガ輔佐尽カスルノ念ハ既
ニ久レク絶無ニ歸シタルヲ以テ今ヤ日本人民ノ為メニ一ノ願
訴ヲ日本政府ニナスハ此「ジャッパン」ガゼットナル日本刊行ノ
英新聞ノ職分ナリ依テ今マ日本人民ノ為メニ願訴ヲナス「斯
ノ如シ

凡ソ貿易上ニ関スル現行ノ諸禁制ヲ廢止スル「通商貿易上ニ
於ケル動作ノ自由ヲ吾人ニ付与スル」政府ハ吾人ノ為メニ高
業ヲ營マザル「是レナリ
政府愈々競争專賣オノ事ヲ止ムルニ及ハズ嚮キニ政府ガ損失ヲ
受ケテ「ポドル」ノ產物ヲ輸出セシモノ我人ハ利ヲ得テ「ポ
ドル」ラルノ多キヲ輸出スルニ至ラシ
果シテ斯ノ如キ狀況ニ至レバ是マデノ如ク年々ノ輸出高僅少
ナラスシテ進々頽フル巨額ニ昇リ以テ日本ヲシテ目今一片モ

握ルベカラザルノ正金ヲ以テ具資本ヲ所持セシムルニ至ルヘ
シ
只管吾人が願フ所ハ政府が專賣ヲ止メ毫モ日本ノ貿易上ニ涉
ツカラザランコトヲ欲スルニアリ

